

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミD	単位認定	1	片山 雅男

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

もりの幼稚園 — 子どもを野外につれ出そう — (自然に触れ合う保育・教育へのすすめ)

1. 自然とのかかわり方の基礎技術を身につけ、活用できる。
2. 子どもにとっての自然とのさまざまな触れ合い、自然の楽しみ方を工夫できるようになる
3. 子どもたちと自然のインタープリター(仲介役)を行うことができる。
4. 文章の書き方を身に付け、分かりやすいレポートの作成ができる。

【授業の概要】

秋から冬にかけての自然遊びや伝統行事を生かした野外活動を行い、保育への活用を考える。演習を中心に、適宜画像を交えた講義も行なう。天候や季節の状況、授業の進行上、講義順・内容の一部が変更されることがある。講義ならびに適宜アクティブラーニングも行う。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション ゼミ訪問

事前学修課題: 前もってシラバスを読んでおくこと。【0.5 時間】

事後学修課題: このゼミで学びたいことを明らかにしておくこと。【0.5 時間】

2. はじめに 保育における自然のもたらす効果を考える。

事前学修課題: 保育において自然がどのような効果をもたらしているか考えておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 子どもたちと一緒にやってみたい自然の活動を考え、まとめること。【0.5 時間】

3. インタープリター入門 観察会の進め方。

事前学修課題: 観察会にはどのようなものがあるか調べておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 自分であれば何ができるか考え、観察プランを考えてみる。【0.5 時間】

4. 伝承草花あそび 笹船、シュロのバツタとトンボ作り

事前学修課題: 小さいころ行った草花遊びについてやり方を考えておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 年齢に合わせた草花遊びを考えてみる。【0.5 時間】

5. 種子の運ばれ方 種子の形態と散布様式。

事前学修課題: 身近にある種子を採集し、どのように運ばれるか考えておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 採集した種子の運ばれ方をまとめる。【0.5 時間】

6. 秋の自然観察 紅葉のからくり。

事前学修課題: いろいろな色に色づいた葉を採集しておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 葉の色づき方をまとめる。【0.5 時間】

7. ミニ観察会 やってみよう観察会！

事前学修課題: ミニ観察会のプログラムを作る。【0.5 時間】

事後学修課題: ミニ観察会の上手い点と上手いかなかった点をまとめる。【0.5 時間】

8. 木の実をつかって ドングリトトロ。

事前学修課題: 木の実を拾ってきて、何を作れるか考えておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 製作上で難しかった点と改善点をまとめる。【0.5 時間】

9. クリスマスと植物	リース作り。
事前学修課題:	完成したリースをイメージして枝や葉などを集めておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	製作上で難しかった点と改善点をまとめる。【0.5 時間】
10. 大晦日と正月の行事アラカルト	鏡餅は何故飾るか。さまざまなお雑煮。
事前学修課題:	自分がやっている大晦日と正月の行事や飾り、食べ物を確認しておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	大晦日と正月の行事や飾り、食べ物の持っている意味をまとめる。【0.5 時間】
11. 草木染め	木の実や葉で染めてみよう。
事前学修課題:	草木染の方法を調べておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	子どもたちと草木染めを行う方法をまとめる。【0.5 時間】
12. 燻製づくり	サクラのチップで作ってみよう。
事前学修課題:	燻製の種類や方法を調べておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	子どもたちと燻製を行うときの留意点をまとめる。【0.5 時間】
13. 期末レポートの完成	学んだことを形あるものに！
事前学修課題:	このゼミで学んだことでできる保育を考える。【0.5 時間】
事後学修課題:	レポートの初稿を完成させ、添削を受ける。【0.5 時間】
14. 節分とひな祭り	厄除け神事。ひな人形の由来。ひな祭りの日の食べ物。
事前学修課題:	節分やひな祭りの行事や飾り、食べ物を確認しておく。【0.5 時間】
事後学修課題:	節分やひな祭りの行事や飾り、食べ物の持っている意味をまとめる。【0.5 時間】
15. まとめ	『魅力ある保育ナチュラリストを目指して』
事前学修課題:	添削に従ってレポートを完成させる。【0.5 時間】
事後学修課題:	自分の文章の特徴を知り、改善を図る。【0.5 時間】
【学習のあり方】	
授業内容について、オリジナリティのある保育への活用・応用を考えること。	
成績評価	
提出物(20%)、レポート(60%)、受講態度(20%)等により評価する。	
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】	
レポートに関して、添削指導を行う。	
【テキスト】	
テキストは使用しない。必要に応じて、プリントを配布する。	
【参考文献】	
日本自然保護協会編 『自然観察ハンドブック』 平凡社	
岩槻邦男編 片山雅男・清水義和他著 『グリーンセイバー』 研成社	
【実務経験の有無】	